

鎌でサクサク

もち米稲刈り

大府・吉田小5年生

大府市吉田小学校の
五年生百四人が四日、
同市宮内町の水田で、
春に自分たちが植えた



会員に助けをもらいながら、刈り取った稲束を縛る児童＝大府市宮内町で

もち米の稲刈りをした。た。

稲刈りをしたのは、地元住民らでつくる「吉田まちづくり協議会」が管理する水田で、会員二十人が児童たちに稲刈りの仕方を指導した。

鎌を持った子どもたちは、手早く稲を刈り取る会員たちを見て「早い」と目を丸くしていた。指導を受けながら児童たちが刈り取った稲は、はさがけ用

に六株ずつ束ねた。脱穀、精米後、十二月に吉田地区のもちつき大会で餅にして振る舞われる。

小島尚弥君（こは「初めてだったが、サクッと切れて気持ち良かった」と感想を口にした。